

# 週間漁海況情報 2024年第11号

令和6年3月12日発行

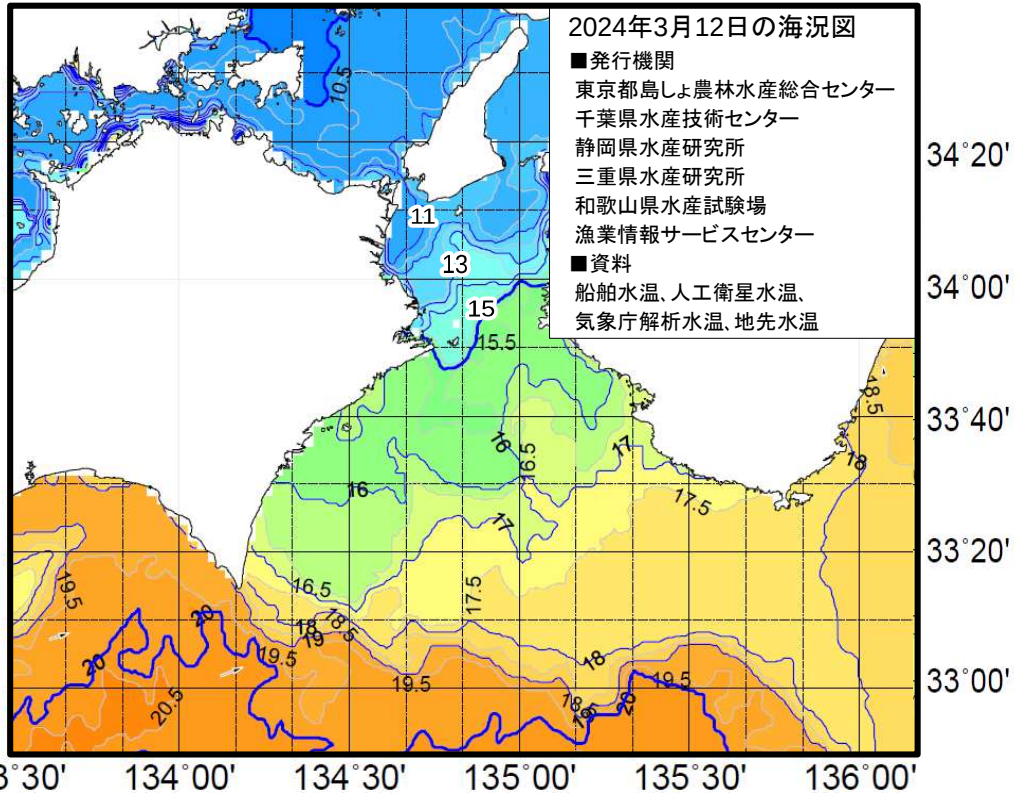
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖130マイル以上、潮岬沖89マイル付近を流れ、室戸、潮岬とも「著しく離岸」している。そのため、黒潮からの暖水波及は弱い。黒潮の小蛇行が紀伊水道沖を東に移動しているため、「著しく離岸」しているが、その通過後は再び近づく予測されている。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は10℃、紀伊水道は10～15℃、海部沿岸は15℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

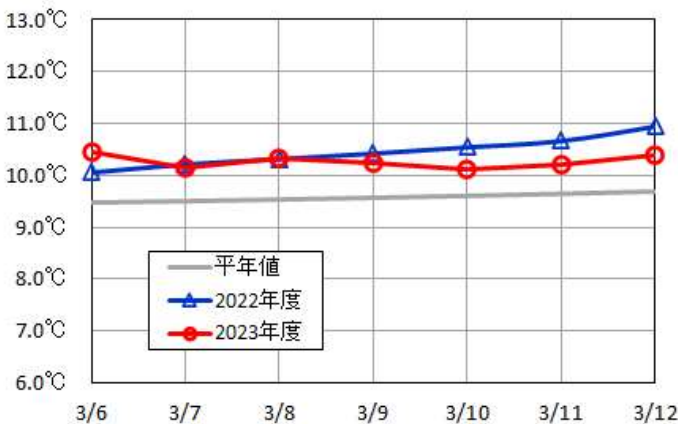
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

### 2. 地先水温(3月6日～3月12日)

鳴門地区の水温は、10.1～10.4℃で「やや高め」、浅川地区は、14.7～15.8℃で「やや低め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は4.3～5.4℃で、先週と比べて広がった。

#### 鳴門地区



#### 浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(3月13日～3月19日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖ともに「著しく離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「平年並み」から「やや高め」で推移する見込み。

**漁況** (3月4日～3月10日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

延縄では、ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

建網では、メジナが増えて大主体に0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく減って豆アジ主体に0.3ト、ブリが増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが大主体に1.4ト、えそ類が減って0.5ト、ヒラメが0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、タチウオが0.8ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が大きく増えて0.3ト水揚げされた。

建網では、ブリが増えて大主体に0.9ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが増えて1.6ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが9.1ト、イシダイが大きく増えて0.8ト、マルアジが大きく減って0.6ト、マアジが0.5ト、クロダイが大きく増えて0.2ト、ウスバハギが大きく減って0.2ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が 0.20トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	延縄	13	ブリ	252	19	めじろ級主体	↗↗
	建網	27	メジナ	509	19	大主体	↗
	小型定置網	11	マアジ	266	24	豆アジ主体	↘↘
		8	ブリ	209	26	大主体	↗
	底びき網	22	コウイカ	1,417	64	大主体	→
		22	えそ類	536	24		↘
		21	ヒラメ	226	11		→
海部沿岸	釣り	15	タチウオ	812	54		→
	延縄	14	あまだい類	284	20		↗↗
	建網	5	ブリ	861	172	大主体	↗
	小型定置網	6	カタクチイワシ	1,551	259		↗
	大型定置網	6	ブリ	9,121	1,520		→
		5	イシダイ	753	151		↗↗
		3	マルアジ	555	185		↘↘
		5	マアジ	495	99		→
6		クロダイ	218	36		↗↗	
5	ウスバハギ	215	43		↘↘		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘